

だいにぎ議会だより



大子町文化福社会館「まいん」
完成記念テープカット
平成22年4月16日



大子町文化福社会館
「まいん」完成

- 平成22年度一般会計予算 83億7,900万円 (2)
正副議長就任あいさつ・審議された議案と結果..... (3) ~ (4)
平成22年度の主な事業 (5)
平成21年度一般会計補正予算・常任委員会等の構成 (6)
一般質問に7人が登壇し、町政を問う..... (7) ~ (13)
人事・あしがき・その他..... (14)

No.
161
平成22年
4月16日

平成22年度一般会計予算は 83億7,900万円

平成22年 第1回定例会

予算編成に当たって

平成22年第1回定例会が、3月3日から12日までの10日間の会期で開かれ、一般会計・特別会計予算、人事案件など、町長提出議案45件、議員提出議案1件が審議され原案どおり可決しました。

最終日には益子英明議長から辞職願が提出され、議長選挙が追加日程となり、選挙の結果、第32代議長に藤田 健議員が当選しました。

一般質問では、7人の議員が登壇し、町政全般について質問が展開されました。今回から一問一答式が導入されました。

町の財政状況は、中期的な財政収支見通しにおいて、人件費・公債費の減少が見込まれるものの依然として高い水準で推移するとともに、扶助費や繰出金の増加が見込まれるなど、引き続き厳しい財政状況にあります。

予算編成に当たっては、事務事業の見直し懇談会の報告に基づき、更なる事務事業の見直しによる歳出削減を図る一方で、町の活性化のため、子育て支援を重点施策に掲げ、小中学生の学校給食費の無料化の継続を始めとして、中学生までの医療費の無料化、妊婦及び乳児健康審査費用の無

料化、子育て支援住宅建設事業など、更に子育て支援の充実を図るとともに、「大子町文化福祉会館」を拠点とし、文化福祉会館自主事業の運営、障害児ふれあい広場事業、障害児日中一時支援事業、子育て支援センター事業、放課後児童クラブ事業及び高齢者福祉対策などの文化福祉事業等を推進します。

引続き産業の振興、交通通信体系の整備、福祉の向上や教育・文化の振興に重点を置き、都市住民との交流を推進するなど、「花と緑と若者の住む 互いに支え合う心豊かなまち」を目指し、事務事業の優先度、

平成22年度 各会計予算

会 計 別		予 算 額	前年度比較 (△減)
一 般 会 計		83億7,900万円	△ 3 億4,300万円
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 事 業	26億2,820万円	△ 9,461万 6 千円
	老 人 保 健	2,204万 3 千円	△ 6,025万 1 千円
	後 期 高 齢 者 医 療	2 億3,313万 8 千円	△ 3,784万 9 千円
	介 護 保 険	18億2,715万 5 千円	136万 1 千円
	介 護 サ ー ビ ス 事 業	1,255万 9 千円	55万 2 千円
企 業 会 計	浄 化 槽 整 備 事 業	1 億1,539万 5 千円	△ 3,920万 4 千円
	下 水 道 事 業	23万円	△ 990万 9 千円
	水 道 事 業	6 億4,696万 5 千円	△ 185万 6 千円
総 額		138億6,468万 5 千円	△ 5 億8,477万 2 千円

緊急度を勘案して、限られた財源の重点的かつ効率的な予算配分に努めました。この結果、一般会計予算

の総額は、83億7,900万円、前年度当初予算に比し3億4,300万円(3.9%)の減となりました。

第1回

臨時議会開催

平成22年第1回臨時議会が、2月4日開催され町長提出議案3件が審議され原案どおり可決しました。

議案審議後、空席となっていた副議長選挙が行われ第28代副議長に仲野 廣議員が当選しました。

審議された議案

◆議案第1号

大子町営宿泊施設の設置及び管理に関する条例

原案可決

◆議案第2号

大子町文化福祉会館の指定管理者の指定について

原案可決

◆議案第3号

平成21年度大子町一般会計補正予算(第7号)

原案可決

◆選挙第1号

副議長の選挙

当選

◆議会運営委員会委員の辞任について

仲野 廣議員 許可

正副議長 改選

第32代 議長 藤田 健 第28代 副議長 仲野 廣 議員

■主な経歴

- ・平成16年初当選
- ・文教厚生委員長
- ・現在2期目（56歳）



副議長就任あいさつ

仲野 廣 議員

平成22年2月4日の第1回大子町臨時議会において、議員各位のご推挙により副議長の重責を担わせて頂く事になり、身の引き締まる思いであります。

議長のご補佐役として、皆様のご期待に添うべく責務を全うし、大子町議会が公正かつ円滑な運営が出来るよう全力を尽くす所存でございます。

地方議会と執行部は常に一体となつて、自主財源の確保に努めながら今の財政難を乗り越えて、活力のある町創りに専念し、町民の皆様への負託に応えるべく努力する考えでございます。

町民の皆様方の尚一層のご支援をお願い申し上げます。して副議長就任のご挨拶といたします。

■主な経歴

- ・平成12年初当選
- ・文教厚生委員長
- ・監査委員
- ・現在3期目（70歳）



議長就任あいさつ

藤田 健 議員

平成22年第1回定例議会において、議員各位の深いご理解とご支援によりまして、第32代議長に就任いたしました。身に余る光栄に存じますとともに、その責任の重大さを痛感しているところであります。

もとより微力ではございますが、公平・公正な議会運営と町政発展のため誠心誠意努力する覚悟でございます。

大子町は今、少子・高齢化問題を始め地域産業の振興、雇用対策等課題が山積しておりますが、活発な議論の中から展望と特色のある町づくりを目指し頑張る所存であります。

町民の皆様におかれましては、更なるご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。して議長就任のご挨拶といたします。

審議された議案と結果

議案番号	議 案 名	結 果
第4号	大子町コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例	原案可決
第5号	大子町立公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第6号	佐原ふれあいセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第7号	大子町自然休養村管理センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第8号	大子町農村環境改善センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第9号	大子町女性・若者等活動促進施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第10号	大子町立集会所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第11号	大子町移動通信用鉄塔施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第12号	大子町職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例	原案可決
第13号	大子町立学校給食センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第14号	大子町営体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決

第15号	大子町医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第16号	大子町保育所保育の実施に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第17号	大子町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第18号	大子町火災予防条例の一部を改正する条例	原案可決
第19号	大子町高齢者センターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例	原案可決
第20号	町道路線の認定について	原案可決
第21号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案適任
第22号	奥久慈茶の里公園の指定管理者の指定について	原案可決
第23号	大子おやき学校の指定管理者の指定について	原案可決
第24号	大子町営宿泊施設福寿荘の指定管理者の指定について	原案可決
第25号	大子町営宿泊施設やみぞの指定管理者の指定について	原案可決
第26号	平成21年度大子町一般会計補正予算（第8号）	原案可決
第27号	平成21年度大子町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
第28号	平成21年度大子町老人保健特別会計補正予算（第1号）	原案可決
第29号	平成21年度大子町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決
第30号	平成21年度大子町介護保険特別会計補正予算（第4号）	原案可決
第31号	平成21年度大子町下水道事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
第32号	平成22年度大子町一般会計予算	原案可決
第33号	平成22年度大子町国民健康保険事業特別会計予算	原案可決
第34号	平成22年度大子町老人保健特別会計予算	原案可決
第35号	平成22年度大子町後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
第36号	平成22年度大子町介護保険特別会計予算	原案可決
第37号	平成22年度大子町介護サービス事業特別会計予算	原案可決
第38号	平成22年度大子町浄化槽整備事業特別会計予算	原案可決
第39号	平成22年度大子町下水道事業特別会計予算	原案可決
第40号	平成22年度大子町水道事業会計予算	原案可決
第41号	大子町教育委員会委員の任命について	原案同意
第42号	大子町監査委員の選任について	原案同意
第43号	大子町副町長の選任について	原案同意
第44号	大子中学校普通教室棟耐震補強及び大規模改造工事請負契約の締結について	原案可決
第45号	大子中学校特別教室棟耐震補強及び大規模改造工事請負契約の締結について	原案可決
第46号	大子中学校屋内運動場耐震補強及び大規模改造工事請負契約の締結について	原案可決
第47号	大子町過疎地域自立促進計画の変更について	原案可決
第48号	平成21年度大子町一般会計補正予算（第9号）	原案可決
議員提出 議案第1号	大子町農業委員会委員の推薦について	原案可決
陳情1号	永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対する陳情	継続審査
陳情2号	「選択的夫婦別姓を認める民法の一部改正」に反対を求める意見書提出に関する陳情	継続審査
請願1号	米価の下落に歯止めをかけ、再生産できる米価の実現を求める請願	継続審査
	常任員の選任について	指 名
	議長の辞職について（益子英明議長）	許 可
選挙第2号	議長の選挙（藤田 健議員当選）	当 選

平成22年度の主な事業

◎ 子 育 て 支 援 関 連

子ども手当給付金（中学生以下に支給）	2億5,633万円
上小川住宅建設事業（子育て支援住宅10棟）	1億5,440万円
児童福祉対策事業（子育て支援センター事業、他）	1億 427万2千円
学校給食費補助金（小・中学生）	5,859万7千円
医療費の無料化（中学3年生まで・妊産婦）	2,715万6千円
妊産婦及び乳児健康診査委託事業（産後1回・乳児3回・妊婦14回）	1,405万7千円

◎ 産 業 の 振 興

森林機能緊急回復整備事業（森林湖沼環境税活用事業）	1億5,740万円
観光宣伝広告案内業務委託料（観光宣伝広告案内業務）	2,000万円
観光施設補修工事（太子温泉保養センター森林の温泉等各種工事）	783万2千円
木造住宅建設助成金（地域材の利用促進）	750万円
花火大会と灯籠流し大会補助金	700万円
農地・水・環境保全向上対策事業補助金（浅川地区ほか事業実施26地区）	638万1千円
奥久慈大子まつり補助金	570万円

◎ 交通通信体系の整備、情報化及び地域間交流の促進

まちづくり交付金事業（駅前ロータリー整備工事、他）	9,635万7千円
道路新設改良費（池田・浅川・小久慈地内）	6,219万6千円
林道開設改良工事（八溝線・滝沢線）	5,350万円
移動通信用鉄塔施設整備事業（楨野地高野、西金湯沢、冥賀中妻）	2,977万5千円
奥久慈グリーンライン林道整備事業負担金（県営事業負担金）	2,793万4千円
農道緊急整備事業負担金（県営事業負担金）	1,890万円
県単土地改良事業（松久保線）	860万円
町民無料バス運行業務委託事業（各地区週1回無料運行）	628万円

◎ 生 活 環 境 の 整 備

浄化槽整備事業（浄化槽特別会計）	7,185万円
消防施設の整備（高規格救急車・小型動力ポンプ付積載車2台）	4,087万1千円
廃棄物処理施設整備計画策定等業務委託料	2,362万5千円
簡易水道建設改良費（水道会計）	1,604万5千円

◎ 保 健、福 祉 の 向 上 及 び 増 進

障害者自立支援事業（障害者自立支援医療費、他）	2億7,060万円
養護老人ホーム入所者措置費扶助	1億3,915万円
医療福祉費扶助（母子家庭、父子家庭、重度心身障害者）	9,497万2千円
障害者地域生活支援事業（障害者訪問入浴サービス）	835万円
敬老祝事業（77歳以上）	684万7千円

◎ 医 療 の 確 保

救急傷病者診療委託料	770万円
常陸大宮済生会病院運営費負担金	734万円

◎ 教 育 文 化 の 振 興

スクールバス運行委託料	4,714万5千円
英語指導助手招致事業委託料（小中学校）	1,785万円
特別支援教育支援員	1,095万4千円
文化福祉会館自主事業運営費	992万9千円
児童生徒読書推進事業図書購入費	686万円

◎ そ の 他

奥久慈区域農用地総合整備事業農業用地整備事業負担金（償還金）	6,183万4千円
地籍調査（内大野、矢田地区）	3,089万1千円

21年度一般会計補正予算 2億444万9千7千円の増額

平成21年度一般会計補正予算の主な歳入歳出は、表のとおりですが、補正後の予算総額は、歳入歳出それぞれ1億13億960万3千円となりました。

その他に、国民健康保険事業特別会計3億66万円の増額、老人保健特別会計870万6千円の減額、後

期高齢者医療特別会計2億6万5千円の増額、介護保険特別会計840万円の増額、下水道事業特別会計89万9千円の減額がありました。

なお、歳入歳出予算のほかに繰越明許費の設定、債務負担行為の追加等がありました。

一般会計補正予算の主なもの

歳 入	補 正 額
国庫支出金	1億3,811万3千円
県支出金	△1,736万2千円
財産収入	1,136万3千円
繰入金	△2,510万2千円
町債	9,198万7千円

歳 出	補 正 額
職員給与費	2,513万円
財政調整基金積立金	1億円
奥久慈グリーンライン林道整備事業負担金	1,369万6千円
定額給付金給付事務費国庫補助金返還金	481万8千円
子ども手当給付システム改修委託料	436万6千円
新型インフルエンザワクチン接種助成金	△902万9千円
地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業	1億4,584万8千円

常任委員会等の構成

議員番号	氏 名	総務	産業建設	文教厚生	議会運営委員会
1	大森 勝夫			委員長	委員長
2	金澤 真人		委員長		委員
3	齋藤 忠一		副委員長		
4	佐藤 正弘	委員長			委員
5	鈴木 陸郎			委員	副委員長
6	藤田 友晴		委員		
7	藤田 稔			副委員長	
8	仲野 廣			委員	オブザーバー
9	野内 健一	副委員長			
10	欠 員				
11	藤田 健	委員			オブザーバー
12	益子 英明	委員			委員長
13	欠 員				
14	吉成 好信			委員	
15	小林 秀次		委員		

6月定例会

開催予定

6月

▽1日(火)開会・提案理由の説明等

▽2日(水) 自宅審議

▽3日(木) 自宅審議

▽4日(金) 自宅審議

▽5日(土) 自宅審議

▽6日(日) 自宅審議

▽7日(月) 一般質問

▽8日(火) 一般質問

▽9日(水) 逐条審議

▽10日(木) 逐条審議

閉会

議会傍聴は町政を知る良い機会です、お気軽にお出かけください。

誰でも傍聴できますし、手続きは、役場三階の傍聴席で受付簿に住所、氏名等を記入するだけです。



雇用をめぐる現状、対策は

佐藤正弘 議員



問 過疎化や人口減は、働く場がないことが要因となっていることは明らかである。平成22年度からの第5次総合計画では、農林業、商工業の育成や振興、雇用の創出や企業誘致を大きな柱にしているが、新年度予算に雇用対策がふれられていないが、現状と対策は。

答 町長

3月補正予算、新年度予算で、かなりの公共事業を組んでいる。町として雇用創出の場として子育て支援住宅の建設、各種建設工事など徹底して地元企業への優先発注を行っている。この事業でかなりの雇用促進ができる。

問 昨年緊急雇用創出事業やふるさと雇用再生事業で

60名以上の雇用が確保されたが、その後どうなっているのか。

答 企画観光課長

8件の緊急雇用創出事業



竹材の伐採をするシルバー人材センターの方々

を実施し、総数で135名を雇用した。

ふるさと雇用再生事業は23年度まで続く。3年間で1年間の雇用を20名考えている。その他の緊急雇用の事業については、必要に応じて6ヵ月以内の雇用を図って行く。

高齢者対策は不十分ではないのか

問 高齢者が「住んでいて良かった」「長生きして良かった」と言える町を造ることが私達に課せられた使命である。給食費の無料化を始め、子育て支援では、

全国に誇れる施策を行っている。高齢者福祉の分野でもその力は十分ある。災害時の緊急連絡、支援などの整備は急務ではないのか。

答 町長

大子町災害時要援護者避難支援計画に基づいて、救援が必要な方の名簿を作成し、緊急時に対応できる体

読書推進事業について

問 学校図書館は、児童・生徒の知的活動を推進し、人間形成や情操を養う上で教育上必要な役割を担っている。各学校の現状は。

答 教育長

法律の蔵書基準を達成しているのは小学校3校、中学校2校である。また、司書の有資格者2名を配置し、各学校を計画的に訪問

制をとっている。

問 町独自で支援事業、補助事業、敬老祝金、高齢者大学などの事業を行っているが、効果をどのように評価しているのか。

答 町長

福祉サービス希望される高齢者の方々には、ほとんど提供されている。支援策は、民生委員活動や広報紙により周知に努めている。敬老祝金は、敬老意識を高める有意義な施策である。

し良書の普及など親しみあえる図書館づくりを展開している。

問 プチソフィア(図書館)は地理的にも不便な所にある。条件の良い所に移転すべきではないか。

答 町長

移転先や財政面で課題がある。当面現施設の充実や蔵書の拡充を図っていく。

既存企業の支援と新規事業で雇用を

藤田 友晴 議員



問 1月の完全失業率は4・9%と前月に比べ改善されているが、依然として厳しい雇用情勢にある。いつ仕事が無くなるのかわからない雇用不安や、働きた

くても働くところが無いという状況である。安心して働け、安心して暮らせる社会になつてほしいと切実に願うが、町として地元既存企業の支援はされているのか。

答 町長

景気対応緊急保証の認定を228件行っている。また、自治金融29件、振興金

西部地区へ

子育て支援住宅建設を

問 大子町における年間の

出生者数は年間90人台で推

融2件の融資に対し、保証料の6割を支援している。新規雇用1人につき年額15万円を3年間支給する町独自の支援策、雇用促進奨励金があり、1社が該当している。また、町発注事業は、原則町内業者への優先発注を徹底し、雇用確保、仕事確保に努めている。

問 新規事業として「林地残材を有効活用した木質チップ燃料」等の事業は考えられないか。

答 町長

森林資源を生かした木質バイオマス事業は、CO2の削減、地元の間伐材利用の点からも効果があり、雇用創出になると思うが、採算的にどうか、燃料の消費できる体制が作れるのか等を調査したい。



山に放置されている林地残材

袋田駅前住宅5戸公募に24人、矢田住宅3戸公募に8人の応募だった。

子育て支援住宅の建設は、矢田えのき台12戸、袋田駅前12戸、新年度予算で上小川地区に10戸を予定している。

問 西部地区に子育て支援住宅の建設はできないか。

答 町長

今後44戸の建設を計画している。

地域バランスから西部地区に適当な土地があれば建設したい。

問 「放課後児童預かり事業」は、予算額100万円で運営できるのか。

答 町長

利用者数の推移を見ながら、予算が不足する場合は補正予算で対応する。

運営は社会福祉協議会へ委託する。

はどのような状況。少子高齢化の状況。また、若者にとつて、大子町は自然豊かな所でいい所だからと言っても魅力を感じないでいると思う。町は若い人たちがこの地域に住みたくなるような施策として「子育て支援住宅」の建設等を推進している。入居希望者数等の状況

緊急通報装置で

一人暮らし対策を

問 65歳以上のひとり暮らしの方全員に緊急通報装置の設置はできないか。

答 町長

本人の希望があれば設置する。

改正農地法への対応は

仲野 廣 議員



問 改正農地法が昨年12月15日に施行された。

主な改正点として、転用規制の厳格化、農地の面的集積の促進、農地利用の促進、農地利用の自由化が柱になっている。農地の有効活用を促す目的で、戦後農政の大転換として位置づけられているが、太子町ではどのような効果が期待できるか。また、遊休農地有効活用の方策とどのように結びつけてゆくのか。

答 町長

今回の改正は、農地の減少を食い止め、農地の確保を図る、農地の貸し借りをしやすくする、農地の有効な利用を図る、の3点が主な改正点だ。町にとって従来より有効と考えられるも

のとして、農地の貸し借りが簡単に出来るといった農地利用集積円滑化事業というのができたことで、県、農協などと連携しながら準備をすすめていく。この農地利用集積円滑化団体を通



太子町の水田風景

じて貸し借りの斡旋をしていただき、経営規模の拡大につなげる。まだ具体的な

戸別所得補償

モデル対策への対応は

問 米戸別所得補償モデル対策が、今年度より実施されるが、すべての農家に所得補償の実施を目指して、自給率向上事業と、米モデ

スケジュールは決まっていない。

ル事業（米所得補償モデル事業）が実施される。今までの自民党政権下では、大規模農家育成を目標としたため、規模要件、転作実施要件などで太子町の農家はほとんど対象外であった。今回の事業は、すべての農家にとり期待があると考えるが、太子町で有効活用するための方策と問題点に対する対応は。

答 町長

米戸別所得補償の対象

事務事業見直しの

実施方法は

問 事務事業の見直しに関する懇談会の報告書に基づいて、事務事業の見直しや、補助金の廃止、削減等などのような方法で行われたのか。

答 町長

予算化するに当たって

は、生産調整の達成、米の販売、そして、転作物100%作付達成という条件がある。今まで太子町の農家は生産調整面積の大部分を自己保全管理としてきた経過があり、その面積は約430haとなっている。自己保全管理という形で生産調整を100%達成している農家は推測だが8割以上になっていると考える。この部分については交付の対象とならないため、各農家が不耕作地の地番、面積、栽培できない理由、改善に向けた取り組み内容、達成予定などを記入した改善計画を町に提出することによりモデル事業の対象面積にすることが可能となる。

その他の質問

○人工透析について

は、各種団体役員とも協議、折衝を行いながら段階的に進める。

事務事業の見直しは継続実施を

野内 健一 議員



問 昨年「大子町事務事業の見直しに関する懇談会」が実施され、12月に町長へ報告書が提出された。

各種事業・団体の補助金の廃止または削減は、平成22年度一般会計予算にどのように反映されたか。

答 町長 補助金の廃止4件、削減10件、事業の統合1件である。

当初予算比較で、244万2千円削減した。

問 事務局の統合、移管、事業の見直し等は、行政として今後どのように協力して推進していくのか。

答 町長 各種団体の役員等と協議を行いながら、事務局体制の整備充実、事務室やパソ

コン等事務機器の提供などの支援をし、報告書に沿って段階的に進める。

問 環境、衛生、給食の各センターのありかたについては今後どのような方向へ進んでいくのか。

答 町長 職員の退職者数の動向などを勘案しながら、民間委託を徐々に進めていく。

問 事務事業の見直しは、行政事業の改善に大変役立つものと考えてるが、今後も継続して実施する考えはあるか。

答 町長 今回の懇談会をそのまま

子宮頸がん

予防ワクチンに公費助成を

問 「子宮頸がん」は、近年において若い女性への発症率が増加傾向にある。昨年10月に承認された子宮頸がん予防ワクチンは、その感染を約70%防止するとの

継続するというのではなく、外部の有識者などで検討委員会を設けて、方針を検討する。

ことだが、町はどのように考えるか。現在の予防ワクチンは国から助成がなく、3回の接種で約5万円の費用がかかるが、町として助成できないか。



子宮頸がん予防ワクチン接種ポスター

脳ドック健康審査の

補助金助成について

問 脳ドック健康審査の補助金交付の詳細は。

答 町長

国民健康保険加入者で40歳以上かつ国民健康保険税を完納した世帯が対象者で、補助額は7割。75歳以

答 町長 予防効果のあるワクチンと考えるので、当然推奨すべきと思う。公費助成については、検討する時間がほしい。

上の方も今後は同様にしていきたい。



東京理科大研修施設の現況は

藤田 稔 議員



問 管理業務が太子町開発公社に一括して委託されているが、業務内容及び委託料はどれくらいになるのか。また町内業者への委託状況はどうか。

答 町長 管理業務460万円、施設設備管理132万8000円、清掃業務484万円、事務管理業務40万円となる。

文化福祉会館を活用した 児童福祉事業とは

問 放課後児童クラブ、子育て支援センター事業の進捗状況と課題は。

答 町長 放課後児童クラブは、太子小学校学区の低学年35名を募集して、4月7日から開始する。

ている。専門的な業務については、地元業者に委託している。

問 町内小・中学校を対象とした教室の開催、町民との交流事業、体育施設の一般開放の状況は。

答 町長 理科教室の開催、吹奏楽部との交流など調整を進めている。

問 新年度におけるゼミ、サークル、オリエンテーションなどの予定は入っているのか。

答 町長 予定は聞いていない。

ら開始する。希望者多数の場合は学習室などを開放して対応する。子育て支援センター事業は、町全域の就学前の幼児と保護者を対象として4月19日から開始する。

さらなる観光客の 誘致を図るためには

問 「冬の滝紀行」で初めて午後5時以降の料金を徴収したが、お客様の反応はどうだったのか。また、イベント内容の見直しはあるのか。

答 町長 経費がかかるため料金を徴収したが問題はなかった。今後魅力あるイベント



観光ボランティアスタート

等地元と協議しながら積極的に取り組む。

問 昨年紅葉時期に観光客が増加したため料金徴収時間が延長されたが、午後5時以降は暗くて滝が見えにくいのでライトアップが必要ではないか。

答 町長

県立自然公園特別地域内なので県の許可が必要である。実施できるよう強く要請する。

問 太子町内への誘客を図るには、観光案内所の設置が急務であると思うが。

答 町長

袋田の滝、道の駅において、観光ボランティアが常駐できるよう検討する。

問 各種イベントに活用でき、地名度アップが図れ、町民にも親しまれるキャラクターの公募を考えてはどうか。

答 町長

太子のイメージには、奥久慈大子大使がよい。

その他の質問

○ドクターヘリの運航について

茨城空港で奥久慈観光のPRを

吉成好信 議員



県と連携し、韓国、中国、台湾などの観光関係者商談

会・袋田の滝訪問時に観光宣伝に努めている。
韓国、中国、台湾向けホームページの開設、パンフレット・ポスター作成等準備を進めている。

ドクターヘリ運航に伴う町の対応は

問 県によるドクターヘリは現在17道府県21箇所を導入されている。関東では東京と茨城を除いた全県で導入しており、福島県も導入済。7月に開始するドクターヘリは水戸済生会総合病院と水戸医療センターの2病院とする全国で初の輪番制である。ドクターヘリは、患者を早く病院に搬送するためのものでなく、救急医療の専門医師を配達する究極の往診システムなどと言われているが、患者を乗せるヘリポートの設置

答 町長 は、どのようなものか。

大子広域公園駐車場を始め、小中学校のグラウンド等公的施設を中心に28ポイントを申請している。ランデブーポイントは順次追加できる。

問 ドクターヘリの要請はどのように行われるのか。

答 消防長

消防機関、医療機関その他公的機関（警察など）から要請する。運行時間は午前8時30分から日没30分前が原則。

水郡線活性化支援事業への

町のかかわり方は

問 水郡線の利用促進及び沿線活性化のため、愛称公募、愛称決定に合わせたイベント等の実施にどのようににかかわっていくのか。

答 町長

これまで以上に水郡線に親しみを感じていただき乗客数の増加や首都圏へのPRによる観光客の誘致を図

その他の質問

○茨城県難病団体連絡協議会の陳情について



茨城空港ロビーにあるステンドグラス

問 国内98番目、首都圏3番目の茨城空港が3月11日開港となる。当面定期便はアジアナ航空のソウル便、4月からはスカイマークの神戸便が就航する。旅客ターミナルビル1階ロビーの壁面にはステンドグラスが設置され、茨城の名所が描かれている。ひととき目立つのが袋田の滝である。町は観光PRにどのように取り組むのか。

答 町長

ポスター、パネルなどの掲示による観光宣伝コーナーに参画し、積極的にPRをしていく。

問 外国人観光客の誘客促進事業はどのように取り組むのか。

答 町長

林業と住宅産業の活性化対策

大森 勝夫 議員



問 雇用対策と景気対策の具体化が急務だと思う。

大子町の林業と住宅産業を関連付け、柱を多用する工法を提唱できないものか。9 cm角の柱を18 cmの間隔に建て強度を保ち、柱が縦格子風の壁面になる工法がある。木材の使用量は3倍以上である。町営住宅にこの工法を採り入れ、施工を大子の建築業者がおこなえば、新工法の技術指導になる。住宅メーカーと競合しない工法を大子の建築業者は習得でき、仕事と受注の可能性が大きく改善される。また、町営住宅は、住宅展示場としての役割も果たしてくれる。そして、地元の木材の需要喚起が期待できる。検討できないか。

答 町長

木材を多く使った工法が普及すれば、町にとつてもメリットがあると思う。しかし、建築費用が高額にな

小中学校の再編の方針について

問 大子中学校の耐震化工事の実施が決まった。今後の大子町の学校再編はどのように想定しているのか。

答 教育長
学校再編の検討条件の変化は5つある。①子供の減少が加速化。②少人数学級制度の導入。③40人学級制の見直しにより、30〜35人学級制の検討。④学校の適正な規模の実現(②③をふまへ) ⑤少人数の学級がたくさんある大規模な学校が理想と思われる。⑤校舎の耐震化の促進の5つである。町では平成20年度当初の状況より1次案が作られた。これらを基に今後3年ス

らないか、建築技術の問題、使い勝手など利便性の問題、断熱など省エネの問題など、多くの視点から検討が必要であると思う。町営住宅への応用は、建築費用が高額になるなどの面があれば、難しいと思う。専門家の意見を聞きながら検討していきたい。

ンで再編計画の検証を行い、その都度知らせていく。

問 空いた校舎の再利用はどのように考えているか。

答 町長
下野宮小の体育館と運動場は町の運動施設として活用していく。空き校舎問題は、地域住民の意見を尊重したい。

「まいん」による福祉向上の計画

問 大子文化福祉会館の完成により、福祉サービス向上の計画はどのようなになっているか。また、それにより発生する他の地域との福祉

サービスとの格差をどのように改善するのか。

答 町長
子供の健全育成と子育て支援として、放課後の児童



建築専門誌から木材需要のヒントを模索できないか

預かりの事業や高齢者活動室などが設置される。他の地域でも要望の多い福祉事業は、需要に応じ検討する。



副町長に成井重美氏



副町長の田中雄章氏の後任に成井重美氏（大子町上岡）を選任することに同意しました。
任期は平成22年4月1日から4年間です。

監査委員に小林秀次議員



町議会議員の中から選任されていた藤田 健監査委員の辞任に伴い、後任に小林秀次議員（8期）を選任することに同意しました。
平成22年4月1日就任。

教育委員に都筑積氏



大子町教育委員会委員の石井邦朋氏が、平成22年3月30日で任期満了となり退任するため、後任として都筑 積氏（水戸市堀町）を任命することに同意しました。
任期は平成22年4月1日から4年間です。

農業委員に3氏を推薦

農業委員会等に関する法律の規定により、次の3氏を議会推薦としました。



齋藤 修一
大子町下金沢



益子実津雄
大子町大生瀬



埴正比古
大子町盛金

人権擁護委員に浅野牧男氏を推薦



人権擁護委員候補者に浅野牧男氏（大子町大子）を法務大臣に推薦（再任）することにしました。
任期は3年です。

町村議員自治研究会に参加

町村議会議員自治研究会が、2月25日、茨城県市町村会館にて開催され町議会議員13名が参加しました。
今回は、気象予報士の海老原美代子氏が、「異常気象と環境問題」今、私たちにできること、政治評論家の浅川博忠氏が「どうなる日本の政治経済」鳩山政権の課題」と題し講演されました。

大子町議会広報委員会



講演する浅川博忠氏

れ、大変参考になる研修会でした。

今回の表紙

世代間の交流と新しい文化を創造し発信する場「まいん」が完成しました。

委員長	藤田友晴
副委員長	佐藤正弘
委員	大森勝夫
委員	齋藤忠一
委員	鈴木陸郎
委員	藤田稔
委員	野内健一
委員	吉成好信
委員	小林秀次
委員	藤田健
委員	仲野廣

あとがき

日本には春・夏・秋・冬という素晴らしい四季があります。この四季の中で春が好きと答える人が多いと言われています。雪国の人達が、冬の寒さや厳しさに耐え忍ぶことができるのは、やがて雪がとけ、暖かい日差しが注ぎ、草木の芽吹く季節が必ずやってくることを信じているからです。

昨年の9月に政権交代があり、これまでと違った政策が進められております。これらの政策が、私達国民にとって冬から春へと変わっていくのか、もしくは、厳冬へと後退するのかは、まだまだ不透明です。多くの国民が望んだ春は、いつ訪れるのか気がかりです。私達議員も町民が望むような春を早く運ぶことができるよう日々努力してまいります。

（前広報委員 益子英明）